

令和 7 年度 9 月分

健康・福祉関係

件 名	予防接種の補助について
内 容	印西市では実費で受ける予防接種になにかと補助がでていますが、白井市ではないのでしょうか。 特におたふくかぜは 5000～6000 円前後と決して安い金額ではないですし、2 回接種になっていますので、1 人に受けさせるだけでも家計に大打撃です。 なので、費用を理由にためらう人は多いと思います。 予防接種を受けない人が多いと、子供たちの集団生活ではあっという間に広がってしまうのが怖いです。
回 答	市では、予防接種法に基づき、定期接種を実施しています。 定期接種には、疾病別に区分けが 2 種類（A 類疾病と B 類疾病）あり、主にお子さんが対象となる予防接種（A 類疾病）は、集団予防を目的として、対象となる方全員が受けるべきものです。そのため接種費用は市が負担し、無料で接種が受けられます。 定期接種以外の予防接種は、任意接種として個人が予防のために受ける予防接種となります。 現在、おたふくかぜワクチン等の補助はございませんが、国で A 類疾病の定期接種化を検討する対象ともなっていますので、市としても、今後の国の動向を確認して対応して参ります。御理解いただけますようお願い申し上げます。 （関係課：健康課）

件 名	新型コロナウイルスワクチンの予防接種自己負担金について
内 容	自己負担金が 12000 円となっておりますが、千葉県内の近隣の自治体の負担金と大幅に相違あります。9 月 25 日ネットで調べますと、鎌ケ谷市 船橋市 松戸市 印西市は 5000 円 市川市の場合でも 7000 円です。他の自治体と比較すると、2 倍以上高いです。何故、こんなにも負担金額が高いのか、解りやすく説明して頂きたいと思います。ちなみに、東京方面の都区内でも 5000～7000 円、葛飾区は無料です。
回 答	市では、予防接種法に基づき、定期接種を実施しています。 定期接種のうち、新型コロナウイルスワクチンを含む高齢者を対象としたワクチンは、個人の重症化予防に重点を置いた予防接種であり、接種する方から実費を徴収することが可能なものとなります。 予防接種にかかる費用のうち、ワクチン代は接種する方の負担とし、接種費用を市の負担としているところです。 令和 6 年度は国からの 1 人あたり 8,300 円の補助金によりワクチンの自己負担額を 3,500 円とすることができましたが、令和 7 年度からは補助金が廃止されたため、その分のワクチン代を接種する方に御負担いただくこととなりました。 なお、接種費用が高額となることを踏まえ、非課税世帯の方については、一部減免とする対応を行っています。御理解いただきますよう、お願い申し上げます。 （関係課：健康課）